

全体講評：

例年通り、いずれの問題も受験生の学力を正確に判定できる良問である。語彙レベル、構文レベル共に受験生に適切な配慮がなされているので、日ごろ培ってきた実力がそのまま答案に反映されることになる。

また、試験時間も大問数に対して順当であり、余裕を持ってじっくりと解答に取り組むことができる。地に足のついた着実な学習を積み重ねてきた受験生が報われる問題である。

試験時間

120 分

難易変化

易化／昨年並／難化

分量変化

減少／昨年並／増加

大問	類型	内容	講評	レベル
問 1	読解総合	遺棄された漁網が環境に及ぼす影響	定番的な環境問題がテーマであるが、語数が比較的多いので息切れせずに一気に読み上げるスタミナを培っておきたい。	★
問 2	読解総合	遅読者のための読書(作法)案内	語彙・構文ともに受験生にとって読み易いレベルだが、説明問題で要求される端的な日本語表現力を鍛えておく必要がある。	★
問 3	和文英訳	より広く深く考えるための「問いカ」	基本的な構文知識に加えて、問題文を英語表現しやすい表現に言い換える力【和文翻訳力】が決め手になる。	★
問 4	テーマ英作文	タイムマシンを用いて経験してみたい世界	定番的なテーマではあるが、設問文で指示されてあるように答案に盛り込むべき内容が多いので、遺漏の無いように注意したい。	★

学習指針：

読解及び作文問題の対策として共通するものは、精確な語法・文法知識の獲得であり、日頃の学習で特に力を入れておきたい。加えて読解問題では段落構成と文章構造を意識すること、作文問題では正しい書き方[作法]を修得しておく必要がある。

いずれの場合も、問題演習の際は必ず解答時間を点検すること、さらに復習をする際は徹底的に音読をすることが肝要である。

※ 難易変化、並びに分量変化は対昨年比となっています。

※ レベル表示は次の区分になります。

- 難 → ★★★
- やや難 → ★★
- 標準 → ★
- やや易 → (無表示)
- 易 → (無表示)